

Business Report



2021年4月1日 → 2022年3月31日

第62期 株主通信

株式会社ヤマザキ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの主要クライアントである輸送機器業界は、今「CASE」「カーボンニュートラル」といった大変革期の中にあります。

当社は、この大変革期をお客様に貢献できる絶好のチャンスととらえ、一層のイノベーションに取り組んでまいります。

例えば、EV化の流れにより、エンジンからモーターへ駆動源が変わろうとも、生産における加工・組立・品質保証・物流は必要不可欠であり、人口減少・人手不足が進む中、省力・省人化の要請は大きく、当社グループに対するニーズもますます高まっていくと考えております。

また、当社の提案する「100年マシン」コンセプトとお客様に寄り添う生産技術力で「世界中で必要とされる会社」を目指してまいります。

更に、今後食品分野や機械の転用改造等のアフターマーケットビジネスなど周辺分野への展開により、さらなる業容拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員

山崎 好和

事業報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、ワクチン接種の普及等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

然しながら、緊迫化するウクライナ情勢による地政学リスクの高まり、原材料価格の高騰及び半導体の供給不足等、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、国内及びベトナムの子会社において輸送用機器の販売が順調に推移したことに加え、工作機械の需要も回復基調で推移したことから、当連結会計年度における売上高は26億3千3百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

利益面につきましては、主力である工作機械事業において、半導体不足により代替品を手配したことによるコストアップや納期遵守に伴う人件費及び外注費の増加等の影響により、営業損失は2億3千9百万円（前年同期は営業損失3億7千5百万円）、経常損失は2億2千2百万円（前年同期は経常損失3億6千9百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1億4千4百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失3億7千8百万円）となりました。

業績ハイライト

最新のIR情報・IRニュースは当社ホームページをご覧ください。

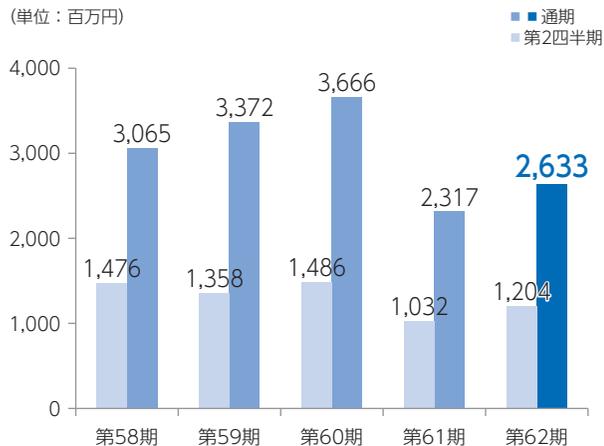
株式会社ヤマザキ IR



売上高

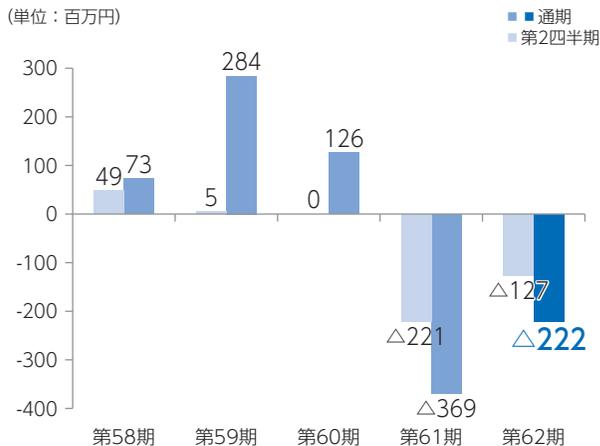
2,633百万円

(単位：百万円)

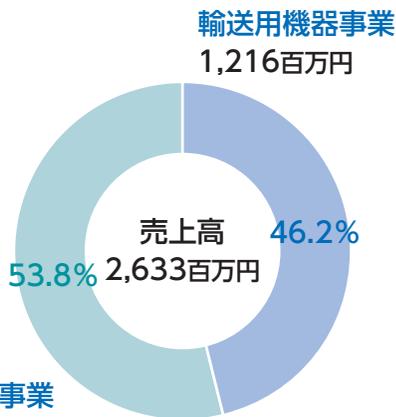


経常利益又は経常損失(△) △222百万円

(単位：百万円)



売上高構成比

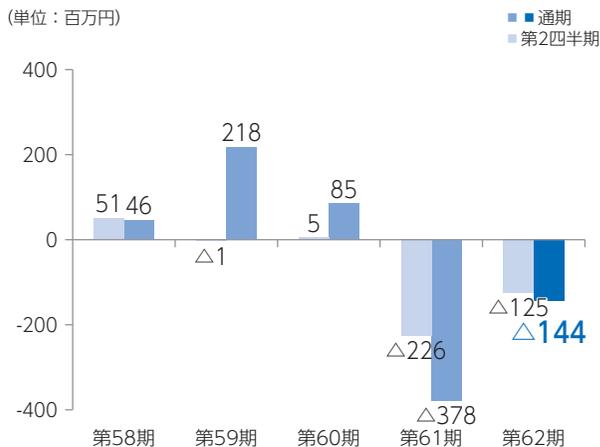


工作機械事業
1,417百万円

(注) 上記売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いております。

親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) △144百万円

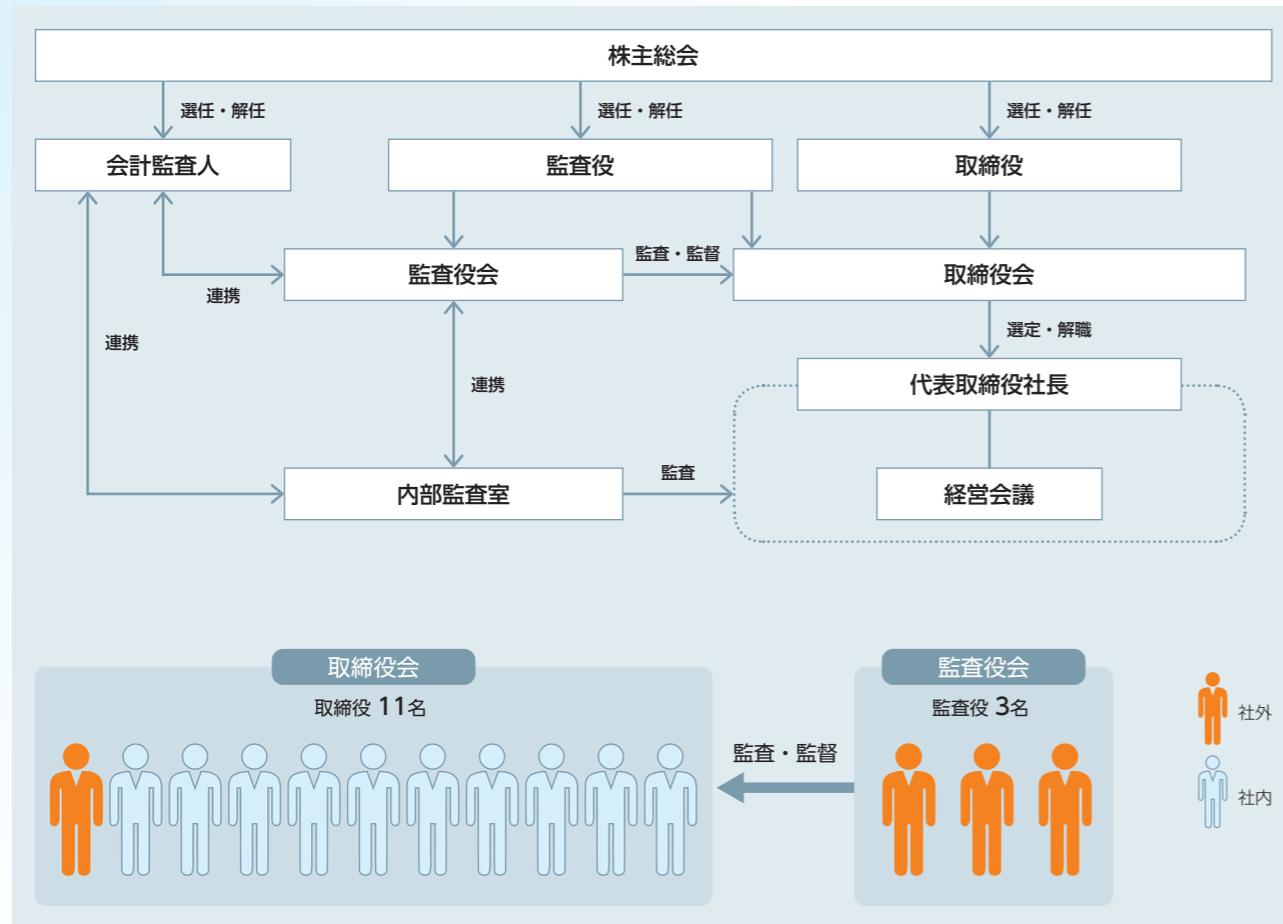
(単位：百万円)



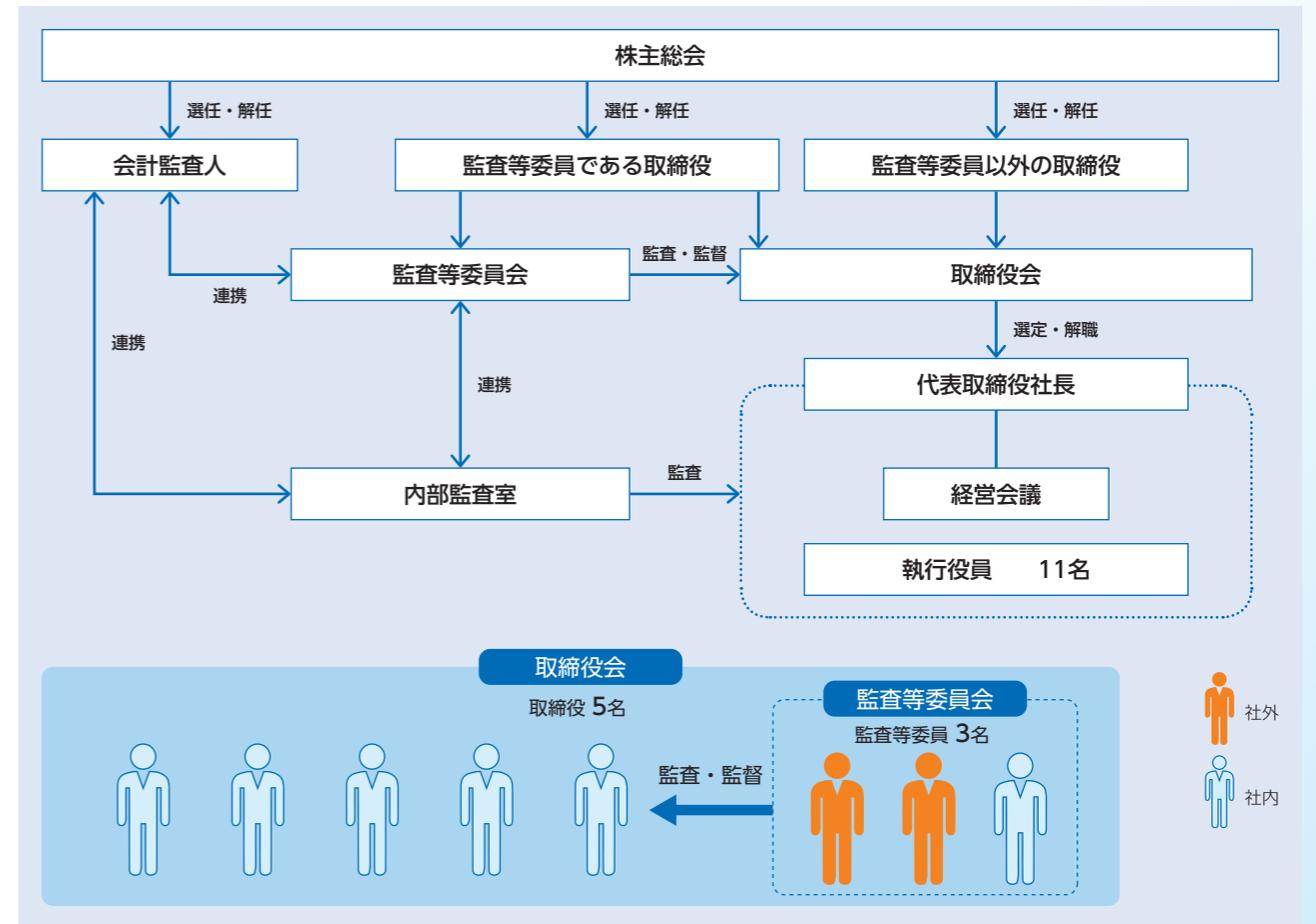
経営体制の変革

「監査等委員会設置会社」への移行と「執行役員制度」の導入

Before 監査役会設置会社



After 監査等委員会設置会社+執行役員制度



当社では、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図ることを目的に「監査等委員会設置会社」に移行するとともに、「執行役員制度」を導入します。

「監査等委員会設置会社」は会社法により規定された機関設計であり、監査等委員会には社外取締役を2名置くことが義務付けられています。この「監査等委員会設置会社」への移行とあわせて、「執行役員制度」も導入します。これによって経営の意思決定と執行業務を分離し、執行役員の責任を明確にすることで、環境変化に機動的、戦略的に対応していく体制を目指します。

会社情報・株式の状況・株主メモ

会社情報

2022年3月31日現在

会社名 株式会社ヤマザキ
設立年月日 1960年（昭和35年）9月1日
本社所在地 〒431-3121 静岡県浜松市東区有玉北町489-23
資本金 9億7,219万円
従業員数 360名（連結）

主要な事業所

テクニカルセンター 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田4-4-3
（都田工場）
関東営業所 〒327-0837 栃木県佐野市植野町2003-2
吉沢テナントビル1F1号
九州営業所 〒800-0304 福岡県京都郡苅田町鳥越町1-2 201
子会社 YAMAZAKI TECHNICAL VIETNAM CO.,LTD.
ベトナム社会主義共和国ハノイ市

事業内容

- 輸送用機器事業
自動二輪車の変速及び制御装置部品、エンジン部品等
- 工作機械事業
インデックスマシン等各種専用工作機械及びボーリングヘッド等省力化設備ユニット

株式に関する事項

2022年3月31日現在

発行可能株式総数 15,703,000株
発行済株式の総数 4,579,000株（うち自己株式 141,749株）
株主数 1,429名
大株主

| 株主名 | 持株数（千株） | 持株比率（%） |
|-------------|---------|---------|
| 山崎好和 | 1,786 | 40.26 |
| 大同興産株式会社 | 685 | 15.43 |
| 真栄 | 364 | 8.20 |
| 株式会社ラックランド | 223 | 5.04 |
| 株式会社静岡銀行 | 198 | 4.46 |
| ヤマザキ従業員持株会 | 102 | 2.30 |
| 加藤好美 | 98 | 2.22 |
| 静岡キャピタル株式会社 | 41 | 0.92 |
| 株式会社電興社 | 40 | 0.90 |
| 林吉三 | 37 | 0.83 |

（注）持株比率は、自己株式（141,749株）を控除して計算しております。

役員

2022年6月29日現在

代表取締役社長執行役員 山崎好和
取締役常務執行役員 川島浩孝
取締役常務執行役員 松本靖之
取締役上席執行役員 山本惣一
取締役上席執行役員 今場浩和
取締役（監査等委員） 高橋則子
社外取締役（監査等委員） 伊藤博
社外取締役（監査等委員） 前田香一郎

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
（定時株主総会で権利行使できるのは、毎年3月31日現在の最終株主名簿に記載された株主様とします。）
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（通話料無料）
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ ホームページのご案内 ■

当社ホームページでは、決算短信をはじめとする最新IR情報をご覧いただけます。また、詳しい製品情報も掲載しております。



<https://www.yamazaki-iron.co.jp/>

株式会社ヤマザキ IR 検索



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。